

## かちかち山

【今回は福娘童話集 <http://hukumusume.com/douwa/pc/jap/04/01.htm> を使用】

子供の頃から慣れ親しんだ話ですが、場面ごとに登場人物（動物）の自我状態について、自主勉強会考えてみました。その中で出た意見をまとめてみました。

狸がお婆さんを殺して汁を作り、お爺さんに食べさせてしまうというのが、もともとのお話ですが

子供向けの絵本では、その辺りは省かれて、いろいろアレンジされています。

### ●狸

お爺さんをからかいながら盗んでいます。

生きるためにイモが欲しいというよりは、盗むこと自体と

お爺さんの反応を楽しんでいます。また、お婆さんを棒で殴り殺してしまいます。

このことから、ネガティブなFCが強く働いていると考えました。

かなり衝動的な行動を重ねています。今のいじめやあおり運転をする人も同じという意見もありました。

そして、何度も兎に騙されても疑わない素直なFCの面もありました。

そこで疑問なのは、狸がお婆さんに言葉巧みに縄をほどくように言う場面です。これはAなのか？ 「騙す」という行為は、表面的にはAですが、裏面は自分の考えで人を支配しようとするのは、第3の立場、CPではないかという結論となりました。

### ●お爺さん

繰り返す狸の挑発にカッとせずの様子を見ていました。いよいよ、やむ様子がないのでワナを仕掛けます。狸を追いかけて回すのではなく、冷静にワナを仕掛けているのでポジティブなAを働かせていると考えました。

狸を懲らしめて狸汁にしようとしているので、CPもそこそこあるようです。

### ●お婆さん

狸の言ったことをそのまま素直に他を疑わないところからFCを、狸を気の毒に思ったりお爺さんのことを思いやっているところからNPをたくさん使っているようで

す。

また、お爺さんが縄をほどくなどと言っていたにも関わらず、ほどいてしまったので状況の読みが甘くお爺さんの言うことを無視しています。

そのため、Aが働いておらず、ACもあまり高くないと推測されます。

## ● 兎

狸を「悪い」として、罰を与えているので正義の味方のCPが働いています。

また、冷静に策略をめぐらしているため、Aが高いと思われれます。

子供の頃は兎は正義の味方のように思っていたが、自我状態を考えていくとどんどんわからなくなってきました。

やけどに唐辛子を塗ったり、泥の船が溶けて狸がおぼれていくのを見ている残虐性は？ 兎は救援者を演じており、自分を正当化して狸を殺したとも考えられます。

## 【エゴグラム】

それぞれの登場人物のエゴグラムを考えてみました。

お爺さん： W型、

お婆さん： M型・・・二人で足りないところを補い合っています。

狸： 逆N型 Aが低くFCが高い

兎： 逆N型 Aが高い

「いじわる」をする場合、同じ逆N型でも、狸は子供のいじわる、兎は大人のいじわるとも言えます。現代の社会の問題にも通じていて、とても興味深いものとなりました。その他、草食の兎と雑食の狸に対抗していくには、もしかしてお婆さんに兎が命を助けられていたらなど、設定条件を変えて考えてみると、終わりのない「かちかち山」です。

(まとめ：小笠原麻知子)

